

月刊 世界の視点で情報を発信する総合誌

# 公論

発行・株式会社財界通信社 令和3年11月1日発行 毎月1回1日発行 第54巻11号  
昭和47年11月10日第三種郵便物認可



11 2021  
November

提言

## コロナから国民の命を守ることが 岸田新政権の第1の課題

本誌主幹 大中吉一

リレー  
対談

慶應義塾大学医学部  
医療政策・管理学教室 教授

映画作家

宮田 裕章氏 VS 河瀬 直美氏

映画を作り続けることが  
次の人達へのメッセージに

「いのち」は私たちそのもの  
自然も動物もそして地球も



連載 政界展望

派閥の狭間で魑魅魍魎が蠢いた  
自民党総裁選の舞台裏

ジャーナリスト  
鈴木 哲夫氏

特別寄稿

日本の新維新に向けて  
100代目の首相を選ぶ、自民党総裁選挙に思う

(株)人間と科学の研究所 所長  
飛岡 健氏

TOPインタビュー⑮

学生のためになる大学、  
学生が得する大学でありたい

東京福祉大学・大学院  
創立者 総長・学長 教育学博士  
茶屋四郎次郎17代直系

中島 恒雄氏

# 東京福祉大学・大学院

創立者 総長・学長 教育学博士  
茶屋四郎次郎17代直系

中島 恒雄氏



## 学生のためになる大学、 学生が得する大学でありたい

### 400年前に海外に渡った

#### チャレンジ精神

東京福祉大学の創立は2000年とお聞きしました

中島 大学を設立したのは2000年ですが、私が37歳の時に故郷である名古屋市が住んでいたまさにその場所に10階建てのビルを建て、福祉関係の専門学校を始めたのが最初です。

中島家のご先祖は徳川家康とゆかりがあるとお聞きしました

中島 徳川家康の「伊賀越え」を助けたことで知られる茶屋四郎次郎は私から17代前の先祖です。中島家の当主は歴代この「茶屋四郎次郎」を名乗ることになっています。

確か伊賀越えは本能寺の変の

後でしたね

中島 本能寺の変の後、徳川家康は明智光秀に命を狙われることになりました。家康が自分の領地である岡崎まで逃げ延びるのを手助けしたのが17代前の茶屋四郎次郎だったというわけです。茶屋四郎次郎は徳川家康が襲われることがないように、道々小判を撒きながら岡崎に行けるように先導したと



茶屋四郎次郎像

伝えられています。

茶屋四郎次郎がいなければ、江戸幕府もなかったことになりますね

中島 今の世の中もきつと異なつたものになつていたかもしれませんね。——そもそもその中島家の屋敷のあった場所に、専門学校を創立されたのが東京福祉大学のはじまりなのです

中島 その初代茶屋四郎次郎の3男、

新四郎の息子である新六郎は、海外貿易を行っていた「御朱印船」の船長として、

遠くベトナム



茶屋新四郎邸宅跡の看板

あたりまで荒波を越えて渡航していました。そこから、恐れることなく海外に向かい未来を切り拓くフロンティアスピリットを建学の基本とし、大学・短期大学、理学・作業名古屋専門学校、保育・介護ビジネス名古屋専門学校の校章には「大海を渡る御朱印船」がデザインされているのです。

大変な歴史ですね

中島 私の祖先たちが400年前に海外に渡ったチャレンジ精神やそこから得た広い視野や学び。そうしたものを現代の学生たちに伝えていきたいと考えています。

まず名古屋に専門学校をお作りになったのです

中島 1985年のことです。それ

聞き手 本誌主幹 大中吉一



中島 恒雄 氏

あるニューヨークのフォーダム大学です。

——なるほど、ご自身が400年前に海外に渡った先祖のチャレンジ精神を發揮したわけですね。3校の中から最終的にフォーダム大学を選んだ理由はどこにあったのでしょうか

から15年後の2000年に大学を創立しました。その間に、きちんとした教育者としての勉強をしようと思いい立ち、博士号を取ることを決心いたしました。私自身は大学では法学部で学びましたから、教育に関しては専門家ではありませんでした。そこできちんと教育学なるものを身につけ、人に教える立場を確立するために、教育学博士号の取得を決心したのです。

——大学院で学ぶことを決心されたのですね

中島 ところが、日本の大学院ではあまり役に立つものがないと思ったのです。それで米国の大学院に留学しようとした。30校ぐらいい手紙を書きまわした。それで返事が返ってきたのは3校でした。サンフランシスコ、ペンシルバニア、そして第45代米大統領であるロナルド・トランプ氏の出身校で

あったのでしょうか

中島 大きかったのは、修士課程ならば夏季に3回来れば取れるというポイントでした。フォーダム大学は1841年にカトリック・イエズス会のニューヨーク大司教区により設立された大学で、180年の歴史を持つ、江戸時代創立という歴史ある大学です。私が留学した頃はまだ日本ではあまり知られていませんでしたが、教員の名簿を見てもなかなか優秀でした。

——英語の認定なども大変だったでしょう

中島 TOEFLなどで英会話の勉強をしようとするのとそれだけで2〜3年を要しますからね。それでは時間がかからないです、肝心の教育学の勉強が遅れてしまいます。私の場合はフォーダム大学の面接でオーケーをもらっていましたからそのまま留学でき

ました。

——留学ビザの取得は難しいようですが、そこらはどうされたのですか

中島 米国への留学の場合、1科目だけではビザはおりません。4科目取らないといけないのです。そもそもフォーダム大学で修士を取るためには10科目を履修しなければなりません。まず秋の学期に4科目、春の学期に4科目、そして夏季短期研修で2科目を取りました。それで留学ビザは無事に取れました。その時に強く感じたのは、米国の大学というのは入学してからが大変であり、真面目に勉強しなくてはならないということでした。

——遊んでいる暇はないということですね

中島 日本の大学は入ってしまったらあとはあまり勉強しないというイメージでしたが、米国の大学は入学してからは後がさらに大変でした。レポートは

いかれてしまうし、毎日毎日が苦勞の連続でした。

——それを乗り越えて来られたのですね

中島 ところがなんとか修士課程を終えて教育学博士課程に入る時に、ユダヤ系だったチェアマンがアイルランド系に変わって急に来る私に対する風当たりが強くなってしまいました。苦労して10科目を履修したのに、1年でそんなに履修できるわけがないから取り直せというのです。言い出したら聞かない勢いでした。それでも大喧嘩の末に7科目に減らしてもらい取り直しました。それに加えて博士課程ではさらに15科目が必要で、合計32科目を履修し、さらにセミナーやレポート、そして博士論文を何回も書き直し、口頭試問を経て教育学博士になれるわけです。

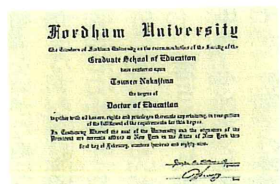
——大変なご苦労ですね

中島 しかしそのおかげで実力はつきました。今では良かったと思っ

試験で点数を取るためには

テクニクが必要

——中島さんのご著書に「できなかった子(生徒)をできる子(学生)にする



フォーダム学位

何回も修正させられるし、きっちり予習復習をしておかないと落ちまち置いて

るのが教育」というのがありましたね

中島 まさに本学の基本方針がそこにあるのです。教員採用試験一次試験合格者の名簿をご覧になってください。

出身高校がそれこそCランクやDランクの学生が多く、更にはEやFランクも居ます。Fといえば通信教育か夜間

高校、Eは農業高校や工業高校、Dで普通の高校の最低線のランクです。そこから教員試験や公務員試験に合格

することを可能にするのが本学なので

す。  
—— 一般論で考えれば、ランクがCやDの高校出身者が教員試験や公務員試験に合格するのはほとんど不可能でかなり困難でしょうね

中島 いわば、希望のない子(生徒)を希望のある子(学生)にして社会に送り出すというのが私の考えであり、そのことを書いた本なのです。

—— いつ頃書かれたのですか  
中島 1997年が初版です。

—— その時代から同じお考えをお持ちだったのですか

中島 文部科学省が提唱するアクティブラーニングはこの本がベースになったと考えています。教育学の先生たちがこの本を読み、アクティブラーニン

グという形に結実させたのでしようね。文部科学省もその点は認めています。

—— 確かにランクがAやBの高等学校の出身者が大学を受験するのであれば、それこそ名門校を目指すでしょうね

中島 当たり前ですが、本学のような新設の大学にそうした生徒は入学して来ません。だからと言ってランクがCやD、あるいはそれ以下のレベルの学生をそのままコロナ形式に社会に送り出しているのは、生徒が可哀相ですし、大学も発展しません。その成長の成果こそが教員試験や公務員試験の合格なのです。

—— しかし、なかなか難しい取り組みですね  
中島 ですからまず大切なのは本学の教員への教え方の指導なのです。とくに今のご時世はオンラインでの授業があつたりしますし、いかに上手に教えるのか…その教え方を指導することが大きなテーマです。本学に限りませんが、世の中の殆どの先生は正しい、わかりやすい教え方を知らないと思います。多くの場合、せっかくながら優秀な教員であるにも関わらず、教え方を

知らないがために、教壇やオンラインでひたすら説明に終始し、理解できた生徒だけがついてくるという状況の連鎖になってしまいます。

—— 落ちこぼれが出てしまいます  
中島 今はオンラインですから違いはありますが、教室での授業などでは、前の方の2〜3列目までの生徒はついて来られますが、教室の後ろの方にいるような生徒は落ちこぼれていってしまいます。これを見捨ててしまうのが日本のこれまでの古いやり方なのです。私の考え方というのは、このいちばん後ろにいる生徒たちを教室の前の列に出させ、そして教員試験や公務員試験に合格できるようにしていこうということなのです。

—— 見捨てないということなのです  
中島 いまはオンラインの授業ですから、こうした物理的な目に見える形にはなりません。一所懸命やる学生たちはきちんと結果を出してくれるのです。

—— それが大きな実績になっていくのです  
中島 高等学校の先生たちが合格者のリストを見て、このランク高校出身者がこうした国家試験に合格するのはあ

りえないことだと驚いています。それが私の教育者としての心の支えであり、一所懸命やろうというモチベーションになっていくのです。

—— それは東京福祉大学の教員の教え方のテクニクという要素が大きいのですか  
中島 とかく教壇からの講義というのは教員が一方的に喋ってしまう傾向があります。生徒がわかっていようがまいが、そのまま先に行ってしまうというのがほとんどなのです。これでは落ちこぼれる学生が出てしまいます。本学では私の方針として授業終了後に確認テストをやるようにしています。

—— 理解しているか否かをチェックするのです  
中島 その確認テストに、公務員試験の過去の問題を利用するのです。そうすることによって学ぶ側の経験値も上がりますし、模擬試験にもなります。いくら基礎をやるといっても、そんな基本的なレベルの問題は試験には出ませんからね。

—— 極めて現実的で、そのまま役に立つ内容ですね  
中島 それこそCやDランク以下の高等学校から来た学生は、残念ながら中



伊勢崎校舎

学校1年生の英語でもわからない場合が多いのです。それはそうです。基礎がないのですから。そこで、なんとか半分だけ、英語の点数を取るようにならせます。言ってみれば受験のテクニックを教えるわけです。ところが数学や物理などはきちんと正解がある科目です。これは解き方さえわかれば誰でも満点が取れるのです。そちらの科目の点数で、できない英語の点数をカバーするので。

——全体として合格ラインをクリアすればよいということですね

中島 その通りです。これはフォーダム大学における統計学の授業で私が学んだことで、つまり計算の積み重ねで

答えを導き出す数学や物理は、零点か満点しかありません。きちんと教えれば誰でも満点が取れる科目なのです。これまでなかなか点数の伸びなかった生徒を私が指導すると満点が取れるようになりまます。きちんと教えればそうなるのです。

### 国家試験合格のチャンス

#### より多くの学生に

——東京福祉大学に來れば、ランクの低い高等学校出身者も教員試験や公務員試験といった国家試験に合格できるのです

中島 それが私のやりたかったことであり、本学の大きな特徴でもあるのです。1人でも多くの国家試験合格者が出るように、全員が合格できるようにしたいと思っています。

——その代わりに入学したら余所の大学のように遊ばせずに、きっちり勉強させて国家試験に合格させるということですね

中島 まあ、普通に勉強してくれば大丈夫です。本学の教授陣、指導陣はそのために努力をしています。ですから学生諸君も一緒に努力をしようということなのです。それともう一方で、学びたくても学べない境遇にある方が

いますね。

### ——金銭的な理由が多いですね

中島 ええ、家にお金がないから進学できないというような場合、さまざまな奨学金を活用することによって大学で学ぶことが可能になります。

### ——学費を支援する制度ですね

中島 母子家庭であったり、父親の失業であったり、さまざまな原因で貧困という境遇にある場合、どこかでその連鎖を断ち切らないと、延々とその境遇が続いてしまうことになります。本学では教員試験や公務員試験といった国家試験に合格することで資格を獲得し、安定した生活を手に入れると同時に、より社会に役立つ仕事をしてもらえるようなお手伝いをするのが大きな使命であると考えています。

——チャンスを与えるのです

中島 本学ならば、チャレンジ精神さえあれば、公務員という安定し、社会に役立つ資格を手に入れることで、現状の貧困から脱却できるということなのです。

——通学が難しい環境にある場合、今回のコロナ禍でのオンライン授業は却って良い面もありそうですね

中島 独りで勉強するといつても、な

かなか大変ですからね。本学のように国家試験の合格が目標になる場合、とくに教授陣の指導力が大切です。さらに個別に対応できるのは大きなメリットでしょうね。

——東京福祉大学の大きな特徴は国家試験合格への道が広く開かれているということですね

中島 出身高等学校のランクが低くても、貧困という境遇であっても、本学には「学び」のチャンスがあるということ。そしてチャレンジ精神を持つて取り組んでいただければ、大学卒という社会的地位と、教員試験や公務員試験、社会福祉士といった国家資格を取得することができ、それによって安定した生活と社会貢献が両立できる。それを実現することができる大学が東京福祉大学なのです。

——それが「いつでも・どこでも・誰でも・安く」学べるということなのです

中島 本学に入りたい希望者全員を受け入れ、全員に国家資格を取らせる。これが本学の経営戦略にほかなりません。学生のためになる大学、学生が得する大学でありたいと考えています。

——今日はありがとうございました